

合衆味といへり、

〔庭訓往來〕能米馬大豆、秣、糖、藁、味噌、醤、酢、酒、鹽。梅。并初獻料○中等、或買餌或乞索令進候、

〔類聚雜要抄〕五節雜事

一所々烷飯

瀧口本所

大外居交菓子二合 盛飯廿坏 埃飯廿坏 透蓋飯一盛 瓶子一口 鯉一隻 雉一枝  
鹽。梅。并木炭等

武者所

大外居交菓子一合 盛飯卅坏 埃飯卅坏 透蓋飯一坏 瓶子一口 鯉一隻

雉一枝  
鹽。梅。并木炭等

〔伊呂波字類抄〕天字調味

〔易林本節用集〕天辭調味

〔增補下學集〕下藝調味

### 料理法

〔宗五大草紙上〕料理の事

一主人貴人の前にて魚鳥等焼事あらば先炭の火にてもあれ、又たゞのおきにても半分前へ搔出して、おきぎをよくならべて、其上にて焼べしやきはて、そのおきのぶんを物にすくひて取べし、蛤をやくにははまぐりのとぢめを小刀にてきりて、其きりめをうへになして、口の方をあつぱいの中へふかくと入て、その蛤におきをかけてやく也。今之切口よりあはを四五度ふき出したらば、やけたると思ひ、かんなかけに取上、小刀にて口を開けて參すべし。

〔庖丁聞書〕一御前にて煮方する時は、金輪の足二ツ上座へ向べし。